

# 牟岐町総合戦略について



堀内 隆弘 議員

【質】堀内 隆弘 議員

「牟岐町で安心して働ける雇用場をつくる」の中で、「中小企業へ支援や若い世代への起業支援等により、良好なビジネス環境の創出を目指します。」とあるが、現在どのような支援が行われているのか。創業支援事業者に対する窓口はどこになるのか。ビジネス情報の集約・発信については「ふるさと納税」制度を利用し、情報の集約・発信に加え販路開拓にもつながると思うが、今後の構想はどのようなものか。つぎに「交流の促進と移

住への展開」では、ローカルハイスクールを通して、町内外の住民の交流を促進していくとあるが「アワビ祭り」など、住民の交流になり得る行事が参観日等と重なっているように思うが、町内外の住民の交流についてどのように捉えているのか。

また、海部病院移転により通院が不便になった声を耳にする。「持続可能なまちづくり」では、高齢者等の交通弱者対策として、「関係機関と連携しながら新たな公共交通システムの導入を検討します。」とあるが、バスの発着地を増やす等、交通弱者対策が必要ではないか。交流の場や活性化につながる目的のものが何件かあるが、費用対効果に合っていないように感じる。小さい箱物を増やすなら、福祉

や起業支援にすべきではないか。

【答】福井町長

中小企業支援策、起業支援策は現在のところ牟岐町にはありません。今後、商工会等、支援機関と連携し必要な支援策を検討してまいります。

ふるさと納税については、ご指摘の十分な効果が出ていないと思う。今後、国の指導も踏まえたあり方について、検討していく。アワビ祭りの日が参観日と重なっているとのご批判があるが、実行委員会と学校側のすり合わせが十分でなかったため、今後は留意してまいります。

高齢者等交通弱者対策については、本年度から徳島バス南部(株)による運行を行っているだけでなくことになった。また、80歳以上の高齢者の方にはタクシー助成券の発行を実施している。今後、新たな交通システム等の導入も含め、協議していきたい。改修した施設の有効活用

については、旧牟岐小学校は国の100%補助事業、出羽島波止の家も40%以上国費で賄っており、費用対効果を出すのは少し難しいと考える。使用方法について

でも、十分な周知が出来ておらず十分な活用に至っていないところもある。使用については、今後十分に活用していただけたらと思っています。



新海部病院のバスのりば